

地域にはばたく市民パワー!



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2022年5月号(第159号)

発行責任者 中原 幹男

三戸素子おはなしと演奏の会

2022.4.23 於 松井公民館ホール



撮影：仲山 富夫氏

三戸素子さんの「おはなしと演奏の会」を聴いて

事業部副部長 梅津 博紀

4月23日(土)にヴァイオリニスト三戸素子さんによる「おはなしと演奏の会」がありました。氏はヨーロッパを始め、世界で広く活躍され、帰国後は様々な分野で演奏活動をしながら「クライネス・コンツェルトハウス」を主宰しています。

N響や地方自治体から支援を受けているオーケストラとは異なり財政的には厳しい中、メンバーはプロとしての矜持を持ち、他のオーケストラにひけを取らない音を紡ぎだしていると自負されています。

お話しの合間の演奏の優雅な音色に心癒されました。特にフィナーレを飾ったツィゴイネルワイゼンのヴァイオリンとピアノの掛け合いは圧巻でした。そして何より所沢の地に素晴らしい音楽を届けたいという熱い思いが伝わってきました。

5月29日(日)にミュージズで「クライネス・コンツェルトハウス」の演奏会があります。皆さん是非、足を運び地元のオーケストラを応援しましょう。



文芸講座のご案内

事業部長 松尾 基昭

事業部では例年好評の文芸講座のテーマを検討してきました。今年度は三谷幸喜脚本による今話題のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する郷土に関係する武将「木曾義仲」と「比企能員」を取り上げることにしました。竹内好夫氏を講師に招き、「動乱の鎌倉期を生きた郷土の武将と文学」というテーマで講座を開講します。

タイムリーな興味深い講座ですので、皆様方の奮ってのご参加をお願い申し上げます。

(講座案内)

- ・講座名 動乱の鎌倉期を生きた郷土の武将と文学
- ・講師 竹内好夫 (観世流謡曲名誉師範)
- ・日時 7月1日(金)、8日(金) (2回シリーズ) 14:30~16:30 (受付 14:00)
- ・会場 新所沢公民館ホール
- ・募集人員 120名 (会員80名、一般40名)
- ・参加費 会員1000円、一般1300円
- ・申し込み 会員 各サークル理事、一般 (チラシご参照)
- ・締め切り 6月20日 (月)



比企能員

(講座趣旨)

講師竹内好夫氏の提案から今回NHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する郷土の武将木曾義仲と比企能員を取り上げ、戦乱の鎌倉期の色々な栄光と挫折の人間ドラマに思いを馳せると同時に、現在放送中の大河ドラマをより楽しむ機会としたい。

(講座内容)

☆木曾義仲

郷土嵐山に生を受け源氏内の同族争い(大蔵合戦)の中で、幡羅郡(熊谷市)を本拠とする武将齋藤実盛に九死に一生を得る。以降木曾で成長し戦乱の世を武将として活躍し色々な人間ドラマを生み出していく。

特に有名な篠原合戦で、髪を染めて奮戦し討たれた老将が、実は命の恩人の実盛と知って全員が涙する場面や栗津の合戦の中で巴御前との今生の別れを覚悟する場面等の人間ドラマを「平家物語」や「実盛」等の戦記文学からその実像に迫る。

☆比企能員(ひきよしかず)

頼朝の乳母比企尼をバックに頼朝亡き後有力な御家人として一時権勢を振るうも北条氏と対立「比企の乱」で滅亡される。比企一族は元来郷土比企郡を本拠とする豪族で、権勢から滅亡までのその経過をたどる。なお、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ではこの講座開講の頃にこのストーリーが放送される予定です。

(後書き)

武家社会の始まりとなる鎌倉時代の親子・兄弟・親族を巻き込む数々の覇権をめぐる争いの歴史的事実を知るにつけ、争いは人として生きていく上で避けられない性なのか。

遠く時代を経てもなお、今起きているロシアのウクライナ侵攻問題は避けて通れない人類の永遠の課題なのか。

文明は大きく進化してきていますが、人類の進化は「歴史は繰り返す」・「歴史に学ばない」の諺通りなのか、平和を維持することの大事さ等考えさせられます。

今回の講座をこうした観点からも色々な思いを巡らせながら教養を高める絶好の機会と考えております。

なお、今回講師を担当して頂く竹内好夫先生は、これまで「平家物語」講座の開講や2020年1月の「新春の集い」での謡曲・仕舞の披露等の他、現在も葵の会で西行法師の「山家集」の講座を4回シリーズ開講中で当倶楽部でも大変お世話になっている方です。

今回開講に当たっても大変熱心に取組んで頂いており、郷土に関連した興味深い内容の話が聴けるとお思いますので、皆様の参加を是非お待ちしております。

「世界の平和を考える」シリーズ 第11回



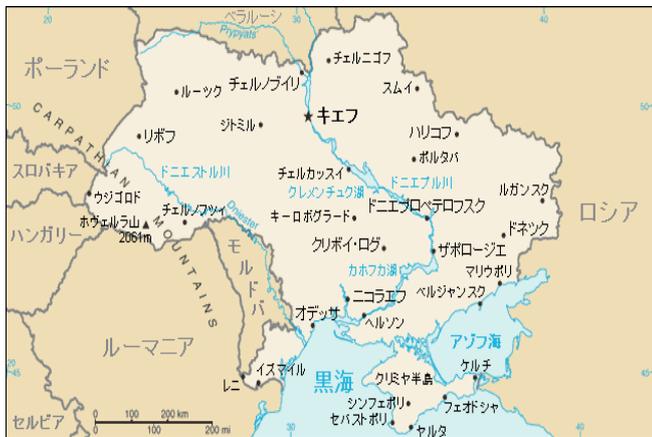
ウクライナ問題を考える(その2)



玉上 佳彦

現在ウクライナで連日起きているロシア軍による破壊と殺戮は、とても 21 世紀のこととは信じられない。

私は、本章では、2ヶ月以上に渡って繰り返されていく具体的な戦況を述べることは控えたい。多くの情報を正確に判断して、真実を見極めていただきたいと考えている。



★本章では、プーチンの歴史観や思想的背景を考察し、ロシアのネオ・ユーラシア主義の本質からウクライナ問題について考えてみたい。

プーチンはウクライナ政権を**ネオナチ**と断定しているが、かつてのナチによる悲劇を忘れることのできない怨念のようなものが現在に残っているのではないかと思う。従って、プーチンはウクライナの非ナチ化をめざして愛国心を鼓舞するプロパガンダを展開しているのであろう。

ロシアの思想的な背景として「ネオ・ユーラシア主義」があるといわれている。極右の地政学者“アレクサンドル・ドゥーギン”によるネオ・ユーラシア主義は、ヨーロッパからアジアにまたがる広大なユーラシアの地域は、ロシアの勢力圏だという主張であり、ここを統一的に支配することがロシア民族にとって必要なのだという考え方といわれている。

従って、ウクライナを含む旧ソ連邦の国々は、西側からの NATO 勢力に侵されてはならず、ウクライナの隣国モルドバやポーランド、ジョージア、フィンランドなど周辺諸国への侵攻も心配される。

「ロシア正教会」のトップのキリル一世は、「ロシア軍はロシアの人々のために平和を守っている」などと発言し、プーチンのウクライナ侵攻を支持し、「ロシアとウクライ

ナは同じ信仰と聖人、希望と祈りを分かち合う一つの民族だ」、「(外国勢力が)私たちの関係を引き裂こうとしている」、「悲劇的な紛争は、第一にロシアを弱体化させるための(外国の)地政学上の戦略になっている」。

プーチンの侵略を支持するキリル一世は、「ロシア正教会はロシア政府の一機関」と言われるほどにプーチンに寄り添っている。プーチンは、ゼレンスキー大統領を欧米の支援を受ける「民族主義者」「ネオナチ」と呼び、侵略を正当化し、戦争は「ウクライナ人の罪への報い」として

いる。
ウクライナ国民の7割は、東方正教会の信者とされており、今回のロシアのウクライナ侵攻を巡っては、ローマ教皇や、ウクライナ東方正教会のトップが相次ぎ戦争を非難し、停戦を訴えている。従って、今回のウクライナ侵攻はある種の**宗教戦争**の意味合いが見られる。

★全く別の観点から見ると、アメリカを始めとする NATO 諸国などの非友好国はウクライナ支援という名のもとに大量の武器を供与している。

特にアメリカはウクライナ支援のために高額の軍事支援をしているが、それは自国の軍事産業を政府の金で支えていることを見逃してはならない。

アメリカの軍需産業は、自国に影響が及ばない地域で戦争が続いてくれることが望ましいのである。

★ウクライナでの戦争の長期化が予想されるが、今後の世界経済への悪影響は多大であり、エネルギー源の混乱だけではなく、小麦などの食糧危機も極めて深刻な事態が予想される。

★日本の問題としては、ウクライナの問題に悪乗りして自民党の「核共有論」、「敵基地攻撃能力(反撃能力)」、「軍事費を GDP の 2%に増額」などの主張が出ていることは、極めて危険な方針転換になるのではないだろうか。注視していく必要がある。

★ウクライナからの避難民を積極的に受け入れることは、友好国として当然であるが、これまでも問題になっていた日本政府の難民政策を見直す時期に来ていると思う。シリア、クルド、ミャンマーなどからの難民受け入れを拒否してきた日本政府が今後どうすべきか熟考すべき時期だろう。

～もし、所沢市の農地全域に ソーラーシェアリングを採用したら～

地球環境に学ぶサークル 中原 幹男

市の宣言「2050 ゼロカーボンシティ所沢」を受け、具体策を早く実行しなければ 2030 年に CO₂を半減することは困難です。所沢市のような地勢では、太陽光発電が再生可能エネルギーを生み出す最有力手段です。そこで有望なのが、市の広い畑の上で発電する「ソーラーシェアリング」です。もし、所沢市の農地全域にソーラーシェアリングを採用したら、北野にある“メガソーラー所沢”の 650 倍の発電電力を得ることができます。そして農家の安定収入につながります。

景観の心配はいりません。メガソーラーは各地で環境破壊を起していますが、“ソーラーシェアリング”は、下の畑で通常通りの耕作・栽培ができ、農地になじむ景観です。むしろ、ビニルハウスよりは開放的なので違和感が少ないのです。

所沢市の農地全域にソーラーシェアリングを採用した場合の試算をしてみましたので、皆さまもぜひ電卓をたたいてみてください。



<提案内容>

1. 所沢市の農地面積は、全市域の 24%もある

所沢市面積は 72 km² (7,200ha) です。その 24% 17 km² (1,700ha) が農地です。ここから産出する農作物の産出額は、年間約 80 億円 (2016 年統計) です。これを担う農家 (販売農家) 数は、約 850 戸。農業就業者は、約 1,700 人。農家 1 戸当たりの年間平均収入は、940 万円です。ここから種苗代、肥料代、農業資材費、農工具機械代などの経費を引くといくらか残らないのが実情です。そのため兼業農家が多く、また、後継者がどんどん減っており、農家の半数には農業後継者がいません。

3. 地産地消再生可能エネルギーが所沢の農業を救う

所沢市の全農地 1,700ha にソーラーシェアリング装置を設置すると、
420MWh × 1,700ha = 714MWh (メガワット)
の年間発電量が得られ、年間発電収入は、714MWh × 10 円 = 7,140 百万円です。

4. これによる年間 CO₂削減量は、315 千トン

714,000,000 kWh × 0.441kg/CO₂/kWh (2020 年度東電係数による) = 314,874 トン

5. 実現のための課題は、たくさんあります。

でも、ソーラーシェアリングは、2050 カーボンゼロを実現するための有力な手段ではないでしょうか？

課題：資金調達、システム構築費用の低減、資材・施工業者の確保、公的補助金の充実、法律改正、行政の支援、農家の理解等

中世の教育論 世阿弥のこゝば

所沢市民大学「日本の芸能」講師
松本 雍



みなさんは「初心忘るべからず」という言葉をお聞きになったことがあると思います。「ものごとを始めたときの、純真でひたむきな気持ちを忘れないで持ち続けなさい」といった意味の格言ですが、これは今から600年ほど昔の人である世阿弥

(1363?~1443?)の言葉なのです。

世阿弥は、足利三代将軍義満に認められた時代を代表する能役者であり、能の構造・様式を完成させて「能の大成者」とも呼ばれる人物ですが、多くの能楽論書を残した理論家でもあります。

ただし、世阿弥の意図は現在の理解とは少しニュアンスが違い、「是非の初心、時々の初心、老後の初心」と説いているように「幼い時から老齢に至るまで、その時々の経験を忘れずに持ち続けるとともに、つねに自分が未熟者であると自覚して修行に励みなさい」という意味です。

慢心を戒める点は共通していますが、現在の理解よりもっと厳しい内容を含んでおり、それは「命には果てあり、能には果てあるべからず」という言葉にも通じると考えられています。

そんな世阿弥の最初の著作である『風姿花伝』に、「年来稽古条々」という一編があります。一座の人々に後継者育成の心得を年齢別に説いたものですが、現代の教育論にも通じる点がありますので少しご紹介したいと思います。



まず「七歳」を稽古始めとしますが、この年頃で注意すべきなのは、「その子が自らやりだすことの中に見るべき点があるので、あれをしろ、これをしろと言わずに好きなようにやらせ、良い、悪いなどと批判してもいけない」というのです。

現代ではこうした個性を重視した自由教育の考え方も広がっていますが、600年も昔の人の言葉だと言うと驚きです。

次の「十二、三歳」から本格的な稽古が始まって舞台にも立ちますが、この年頃で注意するのは「いくら出来が良くても他人から褒められても、それは時分の花（その時だけの仮の成功）」だと教え聞かせるべきだと言います。

そして「十七、八歳」では、体型も変わり変声期で声の魅力もなくなり、観客も首をひねるので自信も失い、

ひいては道から離れることにもなる大変な時期であるとし、「一期の境こなり」と決心して無理のない範囲でひたすら稽古に励むよう指摘しています。

無理をすると心や身体にひずみが生じて、将来に禍根を残すことになるということです。

先日、プロ野球ロッテ球団の佐々木朗希投手（20歳）が完全試合の偉業を達成しましたが、2年前の県大会決勝戦でエースだった佐々木投手の故障を懸念した監督がメンバーから外し、試合に敗れて大きな非難を浴びたことを思い出しました。甲子園を絶対視する高校野球の監督としては異例の判断だったからですが、監督はこの世阿弥の言葉を知っていたのかも知れませんね。

このように、世阿弥の言葉は人生訓や教育論を含んでおり、現代の私達にも頷けることが多いのですが、みなさんはいかがお思いでしょうか。

サークル活動報告

民話はみんなの宝物

民話の会
薄井 文子

第3回「民話の由来地めぐり」は5月13日（雨天延期は20日）に予定しています。前回の参加者の「由来地で民話の語りを聞くと



より実感がわいてくるね！」の言葉に励まされて、日月神社では「とんぼの宿り木」を、持明院では「河童の詫び証文」をお聴きいただきます。宿り木の古木を見たり、深い深い曼茶羅淵を見学してから河童がでんべそ（へそ）を捕りに襲ってきたお話を聞くとその怖さが実感できます。子供たちが淵に落ちて、例えば命を落とすことのないように大人たちが戒める気持ちがよくわかります。語り継がれてきた民話はみんなの宝物ですね。

4月15日、玉上佳彦さんにご協力いただいて初めて語りの録音を行いました。語る私たちは画面に出ませんが、以前テレビで「日本むかし話」を楽しんだように、パワーポイントで現れる画面を見ながらお話を聞けるようになります。録音は緊張しましたがいつもより数段良い出来！と自画自賛です。民話は聞く人と向かい合って語ってこそ通じるものがあると思います。このコロナ禍で訪問して民話を語る機会がなくなり、何とかして所沢の民話を子どもたちに届けたいとの願いで発案しました。

機会があれば是非、ところざわ倶楽部でもご披露したいと思っています。



わたしたちの2025年問題

所沢シニア世代地域デビュー支援の会
田口 元也

シニア世代の地域デビューを支援する本会としては、新型コロナ禍にあつて、支援活動を行うことが極めて困難な状態にあります。したがって、ここ3年間は、サークル会員のみの定例会を、毎月テーマを決めて開催しています。

団体加入で登録している所沢市民活動支援センターでは、毎月の連絡会議への参加と、2月に行われた各団体の市民活動を紹介する、パネル展「所沢市民活動見本市」（市役所市民ホール）に参加しました。

チアダンスのスマイルパイレーツ（SP）では、昨年秋の「中央公民館まつり」と、ところざわ倶楽部主催の「健康増進セミナー」の第2部健康実践で、日頃の練習成果をチアダンスで披露しました。

4月の定例会では「私たちの2025年問題」をテーマに、後期高齢期を迎える身近な問題を取り



上げて話し合いました。「2025年問題とは」、第1次ベビーブーム（1947年～1949年）に生まれた団塊世代が後期高齢者（75歳）に達し、医療や介護など社会保障費の急増が懸念されている問題をいいます。2025年には後期高齢者が2200万人となり、国民の4人に1人が75歳以上になる超高齢社会を迎え、きわめて深刻な状況になります。そのため今後の定例会では、いま現実に、身の回りで起こっている“認知症”や“高齢者の一人暮らし”“8050問題”“老老介護”“終活”など、具体例を取り上げて、引き続き話し合いをしていく予定です。



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

5月12日(木)中央公民館8・9号室 13:00～13:30 準備・受付、13:30～15:30 竹内先生、西行山家集②、15:40～16:30 例会等、16:00 解散
 6月9日(木)中央公民館8・9号室 13:00～13:30 準備・受付、13:30～15:30 竹内先生、西行山家集②、15:40～16:45 例会等、16:00 解散
聴講者 歓迎 !

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

5月18日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ：内野克彦氏による講演「核物質輸送について」
 6月15日(水) 13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ：渡邊晴雄氏による「九寨溝・黄龍旅行記」

3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

5月25日(水)13:30～15:30 こどもと福祉の未来館 多目的室
 例会 「地域福祉サポーター学習会」に参加
 フレイル予防講習の体験会 (運動とゲームで楽しみましょう)
 6月22日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 例会
 テーマ未定

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

5月17日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
 ガーシューイン特集
 「歌曲」&ミュージカル映画「ポーギーとベス」鑑賞
 6月14日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
 ブッチーニ歌劇「トゥーランドット」

5. 食を通して所沢を知る会 (岡部 まさこ 080-5872-1868)

5月24日(火)14:00～16:00 小手指新井園にて「お茶の話」を聞く
 6月23日(木)10:00～13:00 水餃子作り
 6月28日(火)10:00～13:00 ふらっと会議室 「お菓子作りの極意」
 講師：高浦智氏 (「パティスリーモアオシィ」パティシエ)

6. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

5月17日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館
 定例会：「環境討論会」他
 5月27日(金)10:00～12:00 新所沢東公民館
 読書会：広瀬隆著 (CO₂による地球温暖化は・デマ)

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

5月11日(水)13:15～15:00 中央公民館 2階 学習室5号
 定例会 テーマ「私たちの2025年問題②」ご意見をお聞かせ下さい！
 (SP・スマイルパイレーツ練習日) 見学大歓迎！
 5月14日(土)13:30～16:00 中央公民館 2階 学習室6号
 5月28日(土) 13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)

5月7日(土)9:30 トトロ 21号地自然観察会
 5月12日(木)13:00～15:00 新所沢公民館 定例会
 5月17日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
 5月27日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
 5月28日(土)9:30～12:00 トトロ 21号地下草刈り

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (粟屋 貴夫 090-2746-9840)

5月6日(金)「新河岸川水循環センター」(下水処理場)見学
 和光市新倉6-1 8:48「JR新秋津駅」集合
 5月19日(木) 飯能歴史散策「歴史地区と博物館見学」
 6月2日(木) 旧鎌倉街道 入間川道 (入曾～狭山市方面)

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

5月7日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室3号
 シェイクスピア戯曲「冬物語」(松岡和子訳) 輪読
 5月14日(土) 10:00～12:00 中央公民館学習室3号
 「冬物語」 輪読 (続き)

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

5月10日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 邦画「王将」勝新・仲代 共演 玉緒 '73 東宝
 5月24日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 洋画「チャップリンの独裁者」昭和15年に製作 '40 米
 イベント 季節の歳時記 端午の節句 期待しましょう!!

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

5月23日(月)所沢カルチャーパーク散策と昼食・ハーモニカ鑑賞
 集合時間と場所：午前10時、カルチャーパーク管理棟前
 ※お弁当を持参、歩きやすい靴や服装でお出かけください。
 ※参加者には後日、詳細をメールでご案内
 6月27日(月) 未来館・多目的室3号・フラワーアレンジメント

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

5月16日(月) 新所沢東公民館 研修室1号
 グループ活動報告：市議会G 市議会のイロハ 1時間位
 残り時間 財政学習：歳入・目的別歳出・性質別歳出
 6月20日(月) 6月定例会予定、テーマ募集

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

5月13日(金)「第3回民話の由来地めぐり」所沢市北秋津
 (雨天中止の場合は20日(金))
 9時30分集合 所沢駅東口1階 マクドナルド店前
 6月17日(金)10:00～ こどもと福祉の未来館 定例会

理事会報告 4月11日(月) 15期第5回理事会を開催しました。

- ◆次回理事会で今年秋開催予定の「ところざわ倶楽部まつり」について、各サークルの参加意向やアイデアを報告し討議します。
- ・文芸講座：日程 7月1日(金)、7月8日(金)の2回開講
 募集人員 会員80名、一般40名 次回理事会においてチラシを配布後、参加申し込み受付開始予定。
- ・時局講演会：8月17日(水)の午後、笠松素洋先生による講演を

企画しています。(開催場所 中央公民館)

- ・パソコン相談会は、5月11日(水)及び5月20日(金)13時から新所沢公民館で開催します。
- ・3月末現在の会員数は236名(入会6名、退会4名)です。
- ◆ 第15期年会費が未納の方は、サークル代表理事を通じて、早めに納めて下さる様、お願いいたします。
- 5月9日(月)第6回理事会 新所沢東公民館 講堂

みんなの広場 第39回

楽悠クラブ 加藤 敏恭

～市井の「深い」人たちのこと～

色々なサークル活動に係わってきたが、その中で所沢市の後援を得て「生涯学習をすすめる所沢市民 会議」という組織で毎月一回「名人達人に聞く会」という会のスタッフをやっている。

設立以来6～7年経つが人口34万人の都市となると、こんなにも多士済々、素晴らしい方々がよくぞいらっしゃるものと感心しながら楽しんでる。農業、工業、食品、趣味、文化、ボランティア等あらゆる分野を網羅しており、全く何も知らなかった事などが多すぎて自分の浅学菲才を思い知らされる日々である。たまたま会社都合で所沢に住み着いた私には「とかいなか」（都会、田舎）なこの街の魅力を発掘できる良い機会となっている。

江戸時代の五街道を踏破した人、宮内庁雅楽の元楽長、日本卓球を支えた卓球用具メーカーさん、狭山茶農家さん、瓢箪作り名人、地域遺跡を守る方、東日本震災で現地に駆け付けた方、本物の様に動く恐竜メーカーさん、音響メーカーでスピーカーの神様と言われた方等々、思い出すときりが無い。現在も各界の名人が候補に挙がっており、これからますます面白くなる名人会、乞うご期待。

「むさし野俳句会」も新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者にご照会下さい。

連絡先 佐藤(八) 2948-8247 中嶋 2994-6045 海老澤 2922-0259

病棟の窓いつばいに朝桜	高梨 千代	体ごと声を挙げるや恋の猫	海老澤愛之助
後ろ前春セーターの自在かな	中嶋 弘子	かたくりの花に諸人膝まつき	小林 貞夫
初蝶に屋根超す力ありにけり	橋本 佑子	手に受けて降り初めの雨あたたかし	小林 典子
古書街や李杜の国から黄砂来る	平栗 彰子	朝靄に春剪定の匂ひかな	佐藤 八郎
父母眠る小さき寺や涅槃西風	宮本 信生	通学のローカル列車朝桜	白神 恵子
花万朶風の機嫌の良き日なり	荒幡千鶴子	庭先に日の行き渡り蝶の昼	鈴木 征子
外濠の花の名残りや權の音	井出 昇		

むさし野俳句会 (令和四年五月) 作品抄

《編集後記》

～ 大切なもの ～

貴方の大切なものは何ですか？恋人？子供？孫？ダイヤモンド？お金？それがあれば貴方は生きられる。笑って生きられる。だから決して手放してはいけない。そうやって私は大切なものを懐にしまい小走りで生きてきた。でも私の大切なものは私から逃げたものもあるし、ポロッと懐から転がり落ちたものもある。拾ったかったけど落ちて粉々になったものもある。

後悔先に立たず。だから貴方は大切なものを見つけたなら「君が僕の1番。君がいないと僕は生きてさえ居られない」とはっきり伝えておくことだよ。今世界は命の尊さにあえいでいる。私は今夜の夕飯は何にしようかとあえいでいる。人によりあえいでいるものも悲しみも違う。

でも人だから人に優しくなれるはず。編集委員は文章で人に優しくなれる、きっと。(新井：記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳 (七十二) 作品発表 選 中島峯生

課題 「けんか」

喋らない狭い家でも距離をおく
酒を呑み喧嘩で終わる縄のれん
腰痛め返す言葉はけんか腰
じじばの記憶がぼやけもめる種
詰まらない喧嘩するより相手褒め
カミさんに喧嘩売っても不戦敗

どうし
突拍子
縄文人
りんご好き
り
詔笛
庵閑子

「自由題」

走馬燈親しい顔が過ぎて行く
頑張るぞ早起きしたが予定なし
侵略は白人国家のDNA
どうしてかコンビニ前はゴミが舞う
ウクライナ負けるな我らこれにあり
帰る時転ばぬように声かける

詔笛
突拍子
縄文人
りんご好き
庵閑子
どうし

次回 (第74回) 課題「好き」そして「自由題」

締切り日：5月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161